

特定非営利活動法人お口の健康ネットワーク 第28回理事会議事録

1. 日時 2022年10月1日(土) 15:00~17:50
2. 場所 じゅうろくプラザ会議室(岐阜市橋本町1丁目10番地11)
3. 開会 定足数報告

理事総数、出席者数は次の通りである。

理事総数：19名、出席者：16名

出席者：旭律雄、伊佐津和朗、磯崎篤則、河村啓司、木村年秀* (遅参)、楠本雅子、黒瀬真由美、小畑文也* (遅参)、小林崇之* (早退)、津野敬一郎 (早退)、中村宗達、長浦寛子、丸岡三紗*、宗形信司 (遅参)、森田学*、山口一朗
(理事予定者) 江國大輔*
(事務局) 草野栄路
*：リモート参加

4. 理事長挨拶

本日は皆様お忙しい中お集りいただきありがとうございます。多くの議題を挙げていただいておりますので、円滑に進行できるようご協力をお願いいたします。

5. 議事録署名人選出

議事録署名人を伊佐津和朗、河村啓司とすることが提案され、承認された。

6. 報告事項

6-1. 会員数(事務局)

事務局より、資料に基づき会員数の推移について報告があった。

6-2. 事業報告(別添資料)

事務局より、総会議案に記載の事業報告の内容に沿って報告を行った。

6-3. 決算報告(別添資料)

事務局より、総会議案に記載の決算内容について報告を行った。

6-4. 認定歯科衛生士申請状況(事務局)

事務局より、認定歯科衛生士の登録申請者、推薦状況について報告があった。

6-5. 第8回お口の健康フェスティバル(札幌開催)について(企画委員会)

宗形理事より、以下の報告があった。

2023年4月9日（日）札幌開催で調整している。札幌の川野先生と連絡を取っているところで、早急に会場等決定したい。会場の設定については、事務局が川野先生と話を進めることとしたい。

6-6. 認定委員会より

小林委員長より、資料に基づき以下の報告があった。

- ① 認定歯科医師について（新設）
- ② 春の理事会で認定医療機関に所属している認定歯科衛生士について所属しているメリットや特典は何かないかのご意見について
- ③ 認定医療機関更新について
- ④ 認定歯科衛生士の今後の更新について

6-7. セミナー委員会より

伊佐津委員長より、今年のセミナーの参加状況や、今後チェアでの実習ができる会場の確保を検討していることなどが報告された。

6-8. 地域歯科保健委員会より

中村委員長より、リモート会議を行いながら作成した、Pの地域診断方法についての資料を厚生労働省歯科保健課、日本歯科医師会に提案したことが報告された。

津野理事より、厚労省、日歯への訪問に会の代表である理事長が同行しなかったのはなぜか、また4、5名で訪問をされているが、メンバーそれぞれの役割は何かとの質問があった。中村委員長からは、中村理事が委員長として会を代表し、且つ各メンバーそれぞれが個別の案を作成しており、先方も大きな組織であることからこちらも多くメンバーで訪問したことに意味はあったと考えているとの回答があった。

6-9. 会報の連載記事について

事務局より、会報で連載している「基本のき」について、過去の連載内容等について報告があった。

6-10. その他

丸岡理事より、以下の報告があった。

今後の月刊歯科衛生士の連載で、黒瀬先生と山本龍生先生にゲスト出演いただき、つまようじ法について取り上げる予定である。

個人的に行っているSNSでの発信でも、引き続き予防歯科に関する発信もしていき、つまようじ法も取り上げていきたい。また黒瀬先生にもご協力いただいて動画の発信なども検討していきたい。

7. 審議事項

7-1. 第14期（2022年7月度）決算承認

事務局より報告が行われた決算内容について、異議はなく承認された。

7-2. 第15期(2023年7月度)事業計画承認

事務局より、現在予定されている事業計画について報告があり、異議はなく承認された。

7-3. 第15期(2023年7月度)予算承認

事務局より、総会の資料に基づいて説明を行い、異議はなく承認された。

7-4. 役員を選任

理事長より次の提案があった。

- ・新しく岡山の江國大輔先生に理事になっていただきたい。
- ・旭先生が理事から監事になっていただくことに伴い、東海地区の新しい理事として、愛知県の藤井和夫先生を小畑先生と私から推薦したい。

津野理事より、理事を辞任したいとの申し出があった。

以上の内容が理事会として承認された。

(以下、都合により順序を変更して審議を行った。)

7-7. 委員会の予算について(津野理事)

津野理事より、通信費として2~3万円を委員長に預けるようなことはできないかとの提案があった。

通信費を予算に割くことについては承認されたが、使用した金額を明らかにする方法などについて、今後模索することとした。

7-8. 認定歯科衛生士の承認

16名が認定歯科衛生士として承認された。

7-9. 2023年以降のセミナー開催日程について(セミナー委員会)

伊佐津委員長より、来年も今年と同じような日程、プログラムを考えているが、応用編を担当いただく2名の理事の先生については、現在検討中であるとの報告があった。

森田副理事長より、基礎編と応用編の違いについて質問があったが、開催日程については承認された。

7-10. 次回以降理事会・総会・研修会日程

以下の日程を進めることで承認された。

第29回理事会 2023年4月8日(土曜日午後)

第30回理事会・第15回通常総会 2023年9月30日(土)・10月1日(日)

旭理事から、毎年開催している岐阜での総会時の研修会の集客についてご協力いただきたいとの発言が

あった。

7-11. その他

黒瀬理事より、会報で連載している「基本のき」の今後の方向性について意見をいただきたいとの発言があり、以下のような意見が出された。

丸岡理事 つまようじ法の基本的な技術等は出尽くしたのではないか。歯科衛生士は、臨床上の疑問を解決できるような実践的な内容を求める傾向があると思う。つまようじ法も含めた歯周管理の中でのQ&A、歯周治療の流れや考え方、患者さんに聞かれた時の回答に使えるような分かりやすいエビデンスの解説などの内容を希望する。

山口理事 連載内容のストックがあまりないのであれば、そろそろ区切りをつけて次のステップに進んだほうがよいのではないか。

小畑理事 つまようじ法による健康管理がいかに関わらずオーラルフレイルの早期発見・予防につながるかと、予防歯科のトレーニングを受けた先生による歯周病の見方、ヘルスプロモーションや集団の健康管理などの内容を希望する。

木村理事 定期的に来ていただいて術者ブラッシングを続けることがオーラルフレイル予防だと思っている。九州大学の古田先生が行った研究（未発表）では、歯を残すということがフレイル予防につながるという結果が出ている。つまようじ法以外の歯周治療などについても取り上げてはどうか。

磯崎理事長より、基本のきには区切りをつけていき、今後いろんな会員の先生の症例とか、場合によっては上手くいかなかった例なども取り上げてはどうかとの意見があり、そのような方向性で進めることとした。

7-5. 理事長、副理事長の選任

中村理事より、現理事長の改選について提案があった。磯崎先生は会の若返りのために退任され、若い人に理事長を譲ってはどうかとの発言があった。

磯崎理事長より、5年前に理事長を引き受けてからいろいろなことがあったが、今、各委員会がようやく動き出した状況の中、まだ道半ばだと考えているとの回答があった。

小畑理事 磯崎先生には理事長を引き受けていただいて感謝している。次の理事長も決まっていないので退任する必要はないと考えている。

森田副理事長 磯崎先生が引き続きやる気をお持ちであれば、ぜひやっていただきたい。

以上のような議論ののち、磯崎理事長より、引き続理事長を務めてよいかを出席理事に問うたところ、多数の賛成を得たため、理事長の再任が承認された。

また、副理事長についても、森田副理事長、守屋副理事長の再任が承認された。

7-6. 委員会メンバーの選任

中村理事より、地域歯科保健委員会の委員長を退任し、次の委員長は木村先生にお願いしたいとの申し出があった。

木村理事 私委員長を引き受けるかどうかは別として、中村先生のような行政関係者は他にいないので、引き続き委員会には残っていただき、アドバイスなどいただきたい。

黒瀬理事 現在どこの委員会にも所属していないので、どこかの委員会に所属させていただきたい。

以上の議論を踏まえ、委員会の構成、選任については理事長一任にて承認された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2022年10月1日

議長

磯崎 篤則



議事録署名人

伊佐津 和朗



議事録署名人

河村 啓司

